

# 子育てフォーラムの開催

子どもの健康、家族との問題など、日ごろなかなか周りの人と話し合う機会がない方、ぜひこのフォーラムに参加してみたいかがでしょうか。

子育てフォーラムでは、子育てアドバイザーや支援センター利用者と一緒に語りあい理解を深めることができます。

当日は役場から会場まで送迎バスを運行しますので、利用しただきたい(フォーラム終了後、会場から役場までバスを運行します)。

## ▼テーマ

子育て支援は母親支援

## ▼とき

10月20日(木)  
午前10時～11時30分

## ▼ところ

世代交流センターさざんか荘

## ▼役場前からのバス発車時刻

午前9時30分

※途中のバス停車場所・予定到着時間はお問い合わせください。

## ◎問い合わせ

子育て介護課

☎内線306

# 保育ママ

## (家庭保育福祉員)

### を募集します

保育ママ(家庭保育福祉員)とは、就労や疾病などにより、日中、家庭でお子さん(3カ月から2歳児まで)の保育ができない保護者に代わり、自宅(家庭保育福祉員宅)で保育を行う人をいいます。

児童の保育に熱意を持ち、知識、経験のある方を募集します。

## ▼保育ママの要件

・町内在住で27歳から55歳までの健康な人

・保育士の資格のある人

・児童の保育に専念できる人

※その他、家屋の基準や保育時間、休日など詳しくはお問い合わせください。

## ▼登録方法

希望する方は、登録申請書に必要事項を記入し、子育て介護課に提出してください。

## ◎問い合わせ

子育て介護課

☎内線305



## 子育て中・そしてこれから母になるあなたへ ②

### 子どもとの毎日「24時間、お母さんでいなきゃいけないの…？」

我が子を産んだその日から、心身共に子どもにかかりきり。

気がつけば、「最近、大人と話しをしていない。」「外出しても、子どもや家族の用事ばかり。私の時間はないの。」とってしまいます。

妊娠出産を境に、時間的、空間的、経済的にも新たな状況に…。戸惑い、うろたえ、時には社会から取り残された気分になったりしませんか。

夫婦の間で役割分担ができず、夫に不満を感じたり、イラ立ったり…。そのようなとき「余暇を楽しみ、社会的評価が得られたあの時に戻りたい。」と子育てしている多くの方が一度は抱く気持ちです。

「親として成長していないから？」そんなことはありません。情報だけがあふれ、個性ある生活スタイルが定着し、都市化、核家族化された社会で、育ってきたからこそ抱く心模様ではないでしょうか。24時間のうち、ほんの数分でも“自分”の時間を持つように心がけましょう。

初めて触れた“赤ちゃん”が我が子。「どうしたらいいの？」と思うとき、一人で抱え込まないで。私たち子育てアドバイザーがお手伝いします。子育て支援センターで気軽に“息抜き”しましょう。

#### — 子育て支援センター —

▶開館日：毎週月曜日～金曜日

▶相談時間：午前9時～午後5時

※つどいの広場の利用時間は午前10時～午後3時

※アドバイザーが研修等により、休館となる場合がありますので、休館日は広報お知らせ版及びホームページで確認してください。

▶ところ：〒259-0103 大磯町虫窪7

▶アクセス：JR大磯駅よりバス20分(馬場・虫窪経由二宮駅北口行き)、「素心学園前」または(湘南大磯住宅行き)「神奈中ストアー前」バス停で下車

◎問い合わせ 子育て支援センター ☎・☎(71)3377

